

**令和7年度リスクリソース推進コミュニケーションイベント業務
公募型プロポーザル選定委員会 議事要旨**

項目	内 容
1 日 時	令和7年12月22日（月）～令和7年12月24日（水）
2 場 所	書類審査のため、各委員に持ち回り
3 出席委員	広島県総務局 広報課長 広島県商工労働局 雇用労働政策課長 広島県商工労働局 人的資本経営促進課長 広島県商工労働局 産業人材課長 広島県商工労働局 中小企業支援課長
4 議 題	令和7年度リスクリソース推進コミュニケーションイベント業務に係る書面審査について
5 担当部署	商工労働局 人的資本経営促進課
6 開催方法	持ち回り
7 議事内容	<p>1 審査方法 提案された企画提案書を基に書面審査を行い、選定委員会において審査の上、最優秀提案者を選定した。</p> <p>2 審査結果 (1) 審査対象者 株式会社MOTIVATED 株式会社中国新聞社 合同会社デロイトトーマツ 株式会社日本能率協会コンサルティング 株式会社中国四国博報堂</p> <p>(2) 審査対象者の評価値 審査対象者の評価値については、別紙「公募型プロポーザル結果一覧」及び「評価基準に基づく評価項目別の総合値」のとおり。</p> <p>(3) 最優秀提案者及び主な評価・選定理由 ア 最優秀提案者 株式会社中国新聞社 イ 主な評価・選定理由 <ul style="list-style-type: none"> ・趣旨目的が明確で、事前調査により課題を抽出し、それをクリアするためのワークを実施するなど工夫を凝らしている。基調講演の講師がグループワークを総括する、個別相談を受けるなど、取組に連動性がある点も評価できる。ただし、グループワークの内容が難解であり、参加者の気づきや自走への取組につながるのか分かりにくい。広報戦略は明確で、事後パブリシティの自主提案などもあり、評価できる。 ・イベント企画はリスクリソース業界の第一人者を起用するなど安定感があり、広報についても紙やSNSなどの多様な媒体で展開することとしており、集客についても期待できる提案となっている。 ・基調講演の登壇者とGW運営者の一体型により事業効果を創出。GWの企画提案に具体性がある。 ・目標達成に向け、特にグループワークで参加者が取り組む内容が具体的で効果測定が図りやすい点を評価する。 </p>